

食品安全に関する那覇市の取り組み

那覇市保健所 生活衛生課
食品グループ 主査池間学

那覇市食品衛生監視指導計画

- ・ 食品衛生法第24条に基づき毎年度策定
- ・ 重点的に監視指導を実施すべき事項
- ・ 食品等事業者に対する自主的な衛生管理の実施に係る指導に関する事項
- ・ 沖縄県や他の都道府県、行政機関との連携
- ・ 計画、結果等は公表

那覇市保健所HP 生活衛生課 食品衛生のページ

平成27年度の状況

- ・ 食中毒の発生状況
 - 平成27年度（H27.4.1～H28.3.31）
 - 平成28年度（H28.4.1～H28.9.30）
- ・ 食品衛生監視指導状況
 - 施設の監視指導状況等
- ・ 食品安全確保状況
 - 収去検査・啓蒙活動

食中毒の発生状況（平成27年度）

- ・ 発生件数 2 件
- ・ 患者数 5 人
- ・ 施設別 家庭1、飲食店1
- ・ 病因物質別 細菌（カンピロバクター）4人
 寄生虫（アニサキス）1人

食中毒の発生状況（平成28年度）

- ・ 発生件数 3 件
- ・ 患者数 10 人
- ・ 施設別 飲食店3
- ・ 病因物質別 細菌（カンピロバクター）10人

（※速報値 H28.9.30現在）

食品衛生監視指導状況

- ・ 営業許可施設
 - 食品衛生法関連 10,697施設
 - 条例関連 913施設
- ・ 施設の監視指導
 - 法対象施設 2,846件
 - 条例・給食施設 155件
- ・ 食品衛生責任者養成 531人
- ・ 食品衛生指導員活動 3,093件

食品安全確保状況（検査）

- 成分規格等収去検査
 - 微生物検査 390件
（規格基準、衛生規範等）
 - 理化学検査 47件
（食品添加物検査）

別表 2 平成 27 年度食品の収去検査実績

食品分類	計画 検体数	検査 実績	検査項目別内訳		検査項目計
魚介類及びその加工品	14	13	微生物検査 （規格基準、衛生規範等）	13	36
			理化学検査 （食品添加物等）	23	
肉・卵類及びその加工品	3	6	微生物検査 （規格基準、衛生規範等）	18	24
			理化学検査 （食品添加物等）	6	
乳・乳類等	8	8	微生物検査 （規格基準、衛生規範等）	16	16
農産物及びその加工品	12	12	微生物検査 （規格基準、衛生規範等）	36	36
飲料・氷雪等	4	4	微生物検査 （規格基準、衛生規範等）	4	4
その他の食品 （そうざい等の複合調理食品を含む）	107	107	微生物検査 （規格基準、衛生規範等）	303	321
			理化学検査 （食品添加物等）	18	
計	148	150	微生物検査 （規格基準、衛生規範等）	390	437
			理化学検査 （食品添加物等）	47	

食品安全確保状況（啓蒙活動）

- ・ 食品衛生月間セシモニー
市内の商業施設で開催



一日衛生監視員による施設監視
手洗い講習会



食品安全確保状況（啓蒙活動）

- ・ 食品衛生講習会回数 50回
- ・ 参加人数 1,681人



- ・ パンフレット等の配布 4500部

正しい手洗いでウイルスを洗い流しましょう

手洗いは、ノロウイルスやインフルエンザウイルスなどをはじめとする多くの感染症予防の基本です。石けんそのものに殺菌効果はないといわれていますが、手の脂や汚れを落とすことで、手に付着したウイルスを洗い流しやすくなり、ウイルスの感染予防に役立ちます。

正しい手洗い手順

①～③を2回繰り返します



1 指と指を絡め合はします



2 手をめらし、手洗い石けんをつけてよく泡立てる



3 手のひらと甲を5回ほど洗う



4 指の関節、付け根を5回ほど洗う



5 親指を5回ほど洗う



6 指先を5回ほど洗う



7 ブラシで爪を5回ほど洗う



8 手首(親指)を5回ほど洗う



9 流水でよくすすぐ



10 ペーパータオルなどでふくか、エア乾機で乾かす



11 手を拭くときは、顔口の周辺に菌がつかないようにする

図解：(1)～(11) 日本感染症学会編「感染症予防マニュアル」(2014年改訂版) 日本感染症学会編

もし感染が疑われたら

- はやめに医療機関を受診しましょう。
- 予防のためのワクチンや特効薬はなく、治療は症状緩和の対症療法が中心となります。
- 水分補給で脱水症を防ぐことが大切です。
- 強い下痢止めはウイルスの排せつを妨げるため、安眠薬の使用は禁物です。



症状が重くない不顕性にも注意

- ウイルスに感染していても症状が現れない場合があり、その状態を「不顕性感染」といいます。
- 不顕性感染でも、ノロウイルスの便中への排せつがしばらく続きます。そのため、自分が感染していることに気づかず、周囲にウイルスをうつす恐れがあります。
- 病室に感染が広がる場合など、感染の危険がある場合は、「もしかしら感染しているから」と感染の危険性を認識して、しっかりと手洗い(P4)などを行うことが大切です。



図解に配慮し、改訂版「感染症予防マニュアル」(2014年改訂版) 日本感染症学会編

図解に配慮し、改訂版「感染症予防マニュアル」(2014年改訂版) 日本感染症学会編

新タイプも登場!!

ノロウイルスに注意しましょう

監修：岡部信彦 / 川崎市健康安全研究所 所長

感染性胃腸炎が流行しています!



新タイプのノロウイルスの流行が危惧されています

最近、新しいタイプのノロウイルスによる感染性胃腸炎が確認されています。免疫をもつ人が少ないため、既存のウイルスより感染しやすく、冬場に流行する感染性胃腸炎の患者が増え、なかには重症化する人が増えたりすることが心配されています。感染ルート、症状、予防対策など、ノロウイルスと感染性胃腸炎について理解し、感染予防、感染の拡大防止、そして重症化の予防に努めましょう。

那覇市保健所 生活衛生課